

1. 管理室

当室の担当業務（表1）の平成30年度の実施内容は、以下のとおりであった。

表1 管理室の担当業務

1	業務の企画、総合調整および評価
(1)	企画運営会議の運営
(2)	機関評価・研究課題評価委員会の運営
(3)	倫理審査委員会の運営
(4)	他機関との連絡調整
2	衛生および環境に関する情報収集・提供
(1)	環境情報総合処理システムによる情報提供
(2)	花粉情報の提供
(3)	研究センター活動情報の発信
(4)	専門雑誌等の受入れおよび情報システム運営
3	衛生および環境に関する教育および学習の推進
(1)	衛生・環境教室等の開催
(2)	環境情報コーナーの運営
4	衛生検査関係者および環境技術者の研修および指導
(1)	技術研修会の開催
(2)	研修生の受入れ
(3)	所内研究発表会の開催
5	調査研究

1. 1 業務の企画、総合調整および評価

(1) 企画運営会議の運営

所長、部室長、総括研究員および所長が指名する者で構成する企画運営会議を運営し、当センターの試験研究の計画等について審議した。

(2) 研究課題評価委員会の運営

企画運営会議と同メンバーで構成する内部評価委員会、および学識経験者、企業経営者など委員8名で構成する研究課題評価委員会（外部評価委員会）を表2のとおり運営した。

外部評価委員会の委員名および委員会の評価結果については、「I 運営概要」の「6. 研究課題評価」に記載した。なお、外部評価委員会には、本庁関係課にオブザーバーとして参加協力を得た。

表2 研究課題評価委員会の運営状況

年月日	内 容
H30.6.29	・内部評価委員会の開催 (事前4題、中間8題、終了2題)
8.9	・内部評価結果報告
9.7	・外部評価委員会の開催 研究課題評価 (事前4題、中間2題、終了2題)
11.14	・評価結果報告

(3) 倫理審査委員会の運営

医師・弁護士など外部委員7名で構成する倫理審査委員会を運営した。

平成30年度は保健衛生部の研究課題1件について倫理的観点から審査に付議した。

委員名および審査結果については、「I 運営概要」の「7. 倫理審査」に記載した。

(4) 他機関との連絡調整

北陸三県環境研究所、福井大学地域環境研究センター、本庁の地域産業・技術振興課産学官連携推進G等との連絡調整の窓口を務めた。

1. 2 衛生および環境に関する情報収集・提供

(1) 環境情報総合処理システムによる情報提供

環境情報のホームページ「みどりネット」の登録情報の追加更新、データベース更新等を行った。

（「みどりネット」：<http://www.erc.pref.fukui.jp/>）

① ホームページ登録情報の追加更新

- ・平成29年度環境白書（本編・資料編）

- ・平成29年度ダイオキシン類調査結果
- ・平成29年度公共用水域および地下水の水質の測定結果、平成31年度計画
- ・平成29年度自動車交通騒音常時監視調査結果
- ・平成29年度大気・水質の常時監視結果と公害苦情の概要
- ・平成30年度海水浴場の水質調査結果
- ② データベース更新
 - ・環境関係事業届出更新（イントラネット）
 - ・海水浴場の水質調査結果（平成30年度分）等
- (2) 花粉情報の提供
 - ① ホームページによる情報提供
福井市内のスギ、ヒノキ花粉飛散シーズン中の毎日の飛散量や天気予報、ならびに花粉症や花粉に関する情報をホームページ上で情報発信した。
（「福井県花粉情報ホームページ」：
<http://web.erc.pref.fukui.jp/center/kafunsystem/top>）
 - ② マスメディアによる情報提供
花粉飛散の状況等について、報道機関（新聞・テレビ・ラジオ）を通じて県民に情報提供した。
- (3) 研究センター活動情報の発信
 - ① 所報・広報誌の編集・発行（所報、広報誌委員会）
衛生環境研究センター年報（平成29年度）を発行した（12月）。また、広報誌「衛環研だより」（第23号、第24号）を発行した（9月、3月）。
 - ② センターホームページの運用
当センターの業務・活動内容について情報発信したほか、所報等の刊行物の内容を掲載した。
（<http://www.erc.pref.fukui.jp/center>）
 - ③ パネルの作成・展示
当センターの環境研究や花粉に係るパネルを作成し、福井商工会議所（平成31年1月28日～2月1日）、県庁ホール（平成31年3月11日～15日）において展示した。また、当センター内においても常設展示を行った。
- (4) 専門雑誌等の受入れおよび情報システム運営
 - ① 専門雑誌等の受入れ（図書・情報委員会）
専門雑誌・行政資料の受付、データベース登録および図書等の整理・管理を行った。
 - ② 情報システム運営
環境情報総合処理システムや公設試験研究機関科学技術情報ネットワークシステムを適切に運用するため、設備や情報の維持管理を行った。

1. 3 衛生および環境に関する教育および学習の推進

- (1) 衛生・環境教室等の開催
一般県民や小中学生向けの衛生教室や環境教室等の開催の企画調整を行った。平成30年度の実施状況は表3のとおりであった。

表3 衛生・環境教室等実施状況

年月日	事業	対 象 者	参加者
H30.6.9	環境科学体験教室	一般県民	294名
5.28	施設見学 （盲学校）	生徒	4名
8.25～2 6 2018	いしかわ環境フェア	一般	—
9.12	環境教室（出前講座） 一日之出小学校ー	生徒	55名

各教室等の内容は、概ね次のとおりであった。

- ・環境科学体験デー
 - 実験・体験・見学コーナー
 - ア 発電の仕組みや節電の効果
 - イ 顕微鏡による水生生物観察
 - ウ 発泡スチロールはんこ作り
 - エ サーモカメラの体験・撮影
 - オ 巨大シャボン玉体験
 - カ 表面張力・浮力の実験

- パネル展示コーナー
 - エコバッグ配布
- (2) 環境情報コーナーの運営
当センター内に設置した「環境情報コーナー」において、環境図書、ビデオ、パネルの展示を行うとともに、要望に応じて貸出を行った。

1. 4 衛生検査関係者および環境技術者の研修指導

- (1) 技術研修会の開催
当センターが主催した各種研修会（表4）において、連絡調整や当室の業務に関する部分の講師を担当した。

表4 保健衛生および環境保全に関する技術研修会の開催状況

年月日	研 修 内 容 な ど
H30.4.26	食品衛生基礎技術研修会 ・最近の食中毒事例および食中毒細菌検査法の概要 ・ウイルス性食中毒について ・収去検査システムについて ・食品収去検査（理化学試験）について （講師：保健衛生部 参加者6名）
5.10	環境担当職員基礎技術研修会 ・センター業務（環境関係）について ・平成 30 年度の環境保全対策事業について ・環境情報システムーみどりネット等ーの活用法について ・騒音・振動測定の留意点について ・水質異常時における対応について （講師：環境部、管理室ほか 参加者16名）
5.28	感染症基礎研修会 ・改正感染症法について ・感染症発生動向調査・病原体調査について ・三類感染者の検査について ・薬剤耐性菌の検査について ・麻しん、風しんについて （講師：保健衛生部および福井県健康増進課 参加者37名）
H31.2.26	衛生環境研究センター研修会 ・講演：「健全な水環境保全のための水質・湖底環境に関する研究」 （講師：国立環境研究所 琵琶湖分室 霜鳥 孝一 氏） ・報告：「福井県の湖沼における有機物の特性解明に向けて」 （報告者：環境部 保月主事） （調整：環境部 参加者 35名）

- (2) 所内研究発表会の開催
職員研修の一環として開催した（期日：平成31年3月20日）。発表演題は、「IV発表抄録 目次」に記載した。

1. 5 調査研究

平成30年度は、次の調査研究を実施した（当室職員が主担当となって実施したもの）。

- (1) PM_{2.5}の短期的／長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明（国立環境研究所Ⅱ型共同研究）
（研究期間：平成25～30年度）（環境部と連携）